

サプライチェーン強化に向けた セキュリティ対策評価制度

令和8年(2026年)度末開始予定です。
企業のみなさま、対策はお済みですか？

経済産業省及び内閣官房国家サイバー統括室は、サイバー攻撃から企業間の取引を守るための新たな仕組み、「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」の構築を進めています。この制度は、近年頻発している企業に対するサイバー攻撃からサプライチェーン全体を守るための制度です。

ひとたび攻撃を受ければ、長期間の操業停止や顧客情報の流出など、計り知れない損害を被るだけでなく、サプライチェーン全体を麻痺させるリスクがあります。しかし、自社の対策だけでは限界があり、取引先のセキュリティ状況を把握することも容易ではありません。そこで、国が定める「統一指標」として、この評価制度が導入されることとなりました。

2025年12月26日には、「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関する制度構築方針（案）」（SCS評価制度の構築方針（案））が公表され、その評価基準案も公開されています。

経済産業省HP 2025年12月26日付

[「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関する制度構築方針（案）」（SCS評価制度の構築方針（案））](#)

「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（案）」では、5段階（★1～★5）で評価する仕組みが検討されています。

すでに公開されている「[★3・★4要求事項及び評価基準案](#)」において、その評価基準は国際規格である「ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステム」がベースに構築されていることが確認できます。

組織がこれまで培ってきたマネジメントシステムの知見を活かすことはもちろん、ISO/IEC 27001の基礎知識を深め、国の新たな評価軸に適合させていくことが、スムーズな制度対応の鍵となります。



BSIグループジャパンのISMS審査員は、本評価制度の実証を支援しました

BSIグループジャパンのISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）審査員は、本評価制度の実証を支援しました。

BSIだから提供できる「正しい情報」を入手して、新制度へのスムーズな対応準備を開始しましょう。

事前準備には、ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステムに関連する知識を身に着けることが非常に有用です

現在、経済産業省のサイトで公開されている「[★3・★4要求事項及び評価基準案](#)」では、評価項目ごとに対応するISO/IEC 27001:2022の箇条番号および管理策番号が明記されています。★3、★4によって項目数は異なりますが、★4では150項目以上が評価の対象です。評価基準の内容を理解するためには、ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステムの理解することは非常に有用です。

BSIではISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステムを学ぶための研修を数多くご用意しております。早い時期から着実に理解を深め、余裕をもって評価制度の開始を迎えましょう。

BSIのおすすめ研修 詳細は各ウェブページをご確認ください。

- [3時間で学ぶ はじめてのISO/IEC 27001研修 \(オンライン研修\)](#)
- [ISO/IEC 27001 規格概要解説研修 \(オンデマンド研修\)](#)
- [ISO/IEC 27001:2022 要求事項解説研修\(ISMS\)](#)
- [ISO/IEC 27001:2022 要求事項解説研修 \(オンデマンド研修\)](#)
- [ISO/IEC 27001:2022 管理策解説研修\(オンデマンド研修\)](#)
- [ISO/IEC 27001 情報セキュリティに基づくリスク対応実践研修](#)

※ 上記研修は、ISO/IEC 27001を解説する研修であり、「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」の対策研修ではありません。ご了承ください。

【お問い合わせ】

BSIグループジャパン株式会社 教育事業部

☎ 045-414-3026

✉ Japan.Training@bsigroup.com

受付時間 平日 9:00-17:30

